

ここで、関連するもう一つの大きな問題を話しておきたいと思えます。それは、地域で暮らす障害者のなかには、自宅の他に居場所を持たない「家づくり」の状態にある人がおびただしい数にのぼることです。障害者の生産年齢人口（15歳から64歳）は約387万人で、このうち障害者雇用や福祉的就労の傘下にある人は約126万人（32・6パーセント）に留まっています。働いていない人の多くが「この「家づくり」にある人と重なります。現象的